

日本臨床検査専門医会

平成 23 年度第三回常任幹事会議事録

平成 23 年 12 月 16 日

日本臨床検査専門医会 平成 23 年度第三回常任幹事会議事録

開催日時：平成 23 年 12 月 16 日（金）15 時～16 時 30 分

開催場所：日本臨床検査専門医会事務局

出席者：渡辺 清明会長、佐守 友博副会長、渡邊 卓副会長、
土屋 達行、村田 満、山田 俊幸、東條 尚子 各常任幹事、
高木 康、水口 國雄監事

陪席者：木村 聡全国幹事

欠席者：矢富 裕常任幹事

事務局：藤本 梨恵 (敬称略)

定刻、渡辺 清明会長は議長席につき、本年末で会長としての任期が満了する旨挨拶があり、これまでの活動に際しての各役員、幹事および事務職員の協力に対し謝辞が述べられた。挨拶の後開会を宣し、議案の審議に入った。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

渡辺 清明議長は本会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 山田 俊幸、東條 尚子 各常任幹事

報告事項

1. 各種委員会報告

① 情報・出版委員会

矢富情報・出版委員長欠席のため東條庶務・会計幹事より、2008 年から 2011 年までの 4 年間の活動報告があった。

1. LabCP は 26 巻 2 号より特集号形式とした。

26-2：よりよい検査室管理をめざして

27-1：臨床検査医学教育のあるべき姿

27-2：未来を見据えた遺伝子検査

28-1：保険診療と臨床検査

28-2：採血/GLM 教育セミナー

29-1：第 21 回日本臨床検査専門医会春季大会特集号/GLM 教育セミナー

29-2：臨床検査専門医が知っておくべき新しい検査（近々、刊行予定）

次号より R-CPC を復活する予定である。

2. JACLaP NEWS は、LabCP の改編に伴って、春季大会やセミナー等のお知らせを充実させた。「会員の声」は、若手の先生だけでなくベテランの先生方に原稿をお願いすることにより、さらに充実させた。
3. WIRE は、2 タイプを配信（会員限定版と非限定版）するようにした。非限定版は、新規保険収載情報、学会案内などを適切なリンクを付けて配信しており、各施設内で転送され、好評を博している。
4. ラボ専門医のコーナーの企画立案を継続している。2009 年 4 月から 2 年間は「癌と検査」シリーズ、2011 年 4 月から 2 年間は「検査を知る」シリーズとして、一般の方々にも馴染みのある検査項目の基礎と最新情報を一般の方にお伝えしている。
5. 要覧は、2008 年 10 月と 2010 年 8 月に発行した。2008 年版では、会員連絡先に空白が目立ったが、2010 年版では、時間をかけて掲載事項に関するアンケート調査を実施し、改善された。また、2010 年版では、各施設の検査報告書シリーズを復活させた（現在、これを LabCP に連載してはという意見あり）。次回は、2013 年に発行予定（2012 年は日本臨床検査医学会が名簿を発行）。
6. 今後の課題として、他の委員会と協力・連携して HP を通じた情報発信を考える。

② 教育研修委員会

山田 俊幸委員長より、平成 23 年 11 月 19 日に開催された委員会報告があった。平成 24 年度の活動予定として、生涯教育講演会ならびに教育セミナーについて以下を予定していると説明があった。

記

第2回生涯教育講演会

開催日時：平成24年3月23日（金） 16時30分から19時

開催場所：国際ホテル宇部

参加費：2,000円

《プログラム》

1) 「震災・原発事故と対応」

福島県立医科大学感染制御・臨床検査医学 今福 裕司先生

2) 「乳腺病変における針生検と細胞診断の現状と問題点」

日本医科大学付属病院病理部 土屋 真一先生

第80回教育セミナー（講義形式セミナー）

開催日時:平成24年4月29日(日) 9時～17時
開催場所:東京医科歯科大学
主催:日本臨床検査専門医会教育研修委員会

第81回教育セミナー(実技形式セミナー)

開催日時:平成24年5月20日(日)
開催場所:自治医科大学

以上

また、管理医や検体検査管理加算取得のために登録している医師で、臨床検査に明るくない医師を対象としたグループセミナーが必要との意見があり、日本臨床検査医学会会期内に開催される本会の講演会を利用することも考慮に入れて今後前向きに検討するとの説明があった。山田俊幸委員長は幹事の任期が終了するため、来年度は委員として活動の遂行を行う。現委員では、木村 聡、浅井さとみ委員が任期満了となると説明があった。

木村聡全国幹事より、専門医の数を増やすには、今まで参加したことがない人に来てもらえるようなセミナーや講演会にしたい。管理医を対象にメール等で案内を出すなど参加者の掘り起しが必要との意見があった。

③ 資格審査・会則改定委員会

土屋委員長より、選挙に関する会則改定の見直し検討は、次期委員会に申し送る旨の報告があった。

平成23年11月17日の総会で承認された名誉会員、有効会員の会員証は、次の第40回総会でお渡しすることです承された。

④ 渉外委員会

佐守 友博委員長より、今後、振興セミナーの企画以外でも渉外活動を積極的に行う機能を持たせることを考えたいとの発言があった。

⑤ 保険点数委員会

渡辺 清明委員長より、平成23年11月17日に岡山で、日本臨床検査医学会臨床検査点数委員会と合同で開催された委員会の報告があった。

1. 平成24年度診療報酬改定提案書を内保連に提出し、内保連代表のヒアリング、厚生労働省のヒアリングがあったことが報告された。
2. 内保連、生体検査WGで取りまとめた「生体検査に関する提言書」を10月上

旬に宮澤検査系副代表、米山検査関連委員会委員長、東條検査関連委員会委員で厚生労働省に説明の上、提出した。厚生労働省からは、このような評価、調査を継続的に行うこと、有用性の評価基準を具体的に示すことが求められた。

3. 内保連では、内科系診療技術を診療報酬に反映させるために、「特定内科系診療(仮称)」の新設を要望すべく評価を試みたが、十分にまとめることができず、今回の提案は見送られた。

4. 臨床検査振興協議会の医療政策委員会ワーキンググループは、臨床検査の価値とコスト、検査の診療報酬の仕組み、検査の性能の3つの分野について検討し、9月末に厚生労働省経済課長あての提言書を提出した。臨床検査振興協議会の活動は極めて有用であり、今後も積極的な活動を継続していくべきである旨の説明があった。

2. ワーキンググループ活動報告

① 専門医数増加方策検討 WG

木村聡 WG 委員長より、平成 23 年 11 月 19 日岡山で開催された WG 会議報告があった。医学生にも解るように検査医の具体的な活動をホームページに掲載したい。原稿依頼にあたり、スペースの大きさやバイト数の上限を事務局で確認することとした。

出版物を介した活動として、若い医師を購読層とする医学雑誌に仕事内容を紹介する連載をしてはどうかとの意見があり、各雑誌の編集委員に企画を提示して相談することとした。

知名度拡大のためのグッズの作成は、著作権、作成費などの点でさらに協議が必要との結論に達した。

本 WG は、次年度も継続して活動することです承された。

② 専門医広告啓発促進 WG

村田満 WG 委員長より、平成 23 年 11 月 17 日岡山で日本臨床検査医学会広報委員会と合同開催された委員会の報告があった。

A. 専門医の一般への啓発、B. 専門医の医師への啓発、C. 専門医広告可能への働きかけ、D. 専門医のインセンティブについての4つの方策について、いずれも難題で解決は難しいが、結論は出なくても継続していく必要がある。今後は特に、C. 専門医広告可能への働きかけを検討していくことになったと報告があった。

本 WG は今回で終了とし、平成 24 年度からは、渉外委員会を渉外・広報委員会と改名して、本 WG の検討事項を継承して委員会活動を続けていくことです承された。

3. 臨床検査専門医・管理医審議会への提案について

東條庶務会計幹事より、日本臨床検査医学会に対し、セルフトレーニング問題出版の検討を求める提案について説明があった。これに対し、これらは本会で作成する方針となり、次年度、出版情報委員会で検討することとなった。木村聡全国幹事より、会員限定で、インターネットを利用したQ&A方式によるピットフォールの学習、コンサルテーショントレーニングなどの方法も考えられるとの提案があった。

4. 第22回春季大会について

日野田裕治全国幹事に代わり、東條庶務会計幹事から開催概要について報告があった。

記

大会長 日野田 裕治 教授（山口大学大学院医学研究科臨床検査・腫瘍学分野）

開催会場：国際ホテル宇部

〒755-0047 山口県宇部市島1-7-1

TEL：0836-32-2323

FAX：0836-32-2316

開催日時：平成24年3月23日（金）、24日（土）

1日目（3月23日（金））

14：30-16：30 第2回全国幹事会

16：30-19：00 第2回生涯教育講演会

19：00-21：00 懇親会

2日目（3月24日（土））

9：25-9：30 大会長 開会挨拶 日野田裕治（山口大学）

9：30-12：00 シンポジウム1

「遺伝子検査の今後」

司会

野村 文夫（千葉大学）

矢富 裕（東京大学）

シンポジスト

末広 寛（山口大学）

中谷 中（三重大学）

中山 智祥（日本大学）

野村 文夫（千葉大学）

前川 真人 (浜松医科大学)
宮地 勇人 (東海大学)

12:00-13:00 ランチョンセミナー

13:00-13:30 平成24年度第1回総会

13:30-15:30 シンポジウム2

「臨床検査専門医育成のための専門医教育のありかた」

司会

熊坂 一成 (上尾中央総合病院)

松尾 収二 (天理よろず相談所病院)

シンポジスト

土屋 達行 (日本大学)

本田 孝行 (信州大学)

玉真 健一 (University of Pittsburgh Medical Center)

原田 健右 (富山大学) 他

15:30-15:35 次期会長挨拶 渡邊 卓 (杏林大学)

15:35- 大会長閉会挨拶 日野田裕治 (山口大学)

第22回春季大会事務局

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1

山口大学 医学部附属病院 臨床診療部

山口大学 大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学分野

代表 末広 寛

TEL: 0836-22-2337, FAX: 0836-22-2338

e-mail: ysuehiro@yamaguchi-u.ac.jp

以上

5. 第23回春季大会について

第23回春季大会 大会長の渡邊卓副会長(大会長)から、会員の親睦をはかるため、開催地を熱海に設定する方向で検討中である旨の報告があった。

6. 平成24・25年度役員について

佐守友博次期会長より、平成24・25年度役員について、以下のとおり報告があった。

記

会 長: 佐守 友博
副会長: 小柴 賢洋、木村 聡

監事：高橋 伯夫、土屋 達行
常任幹事：池田 均、菊池 春人、佐藤 尚武、下 正宗、
東條 尚子、米山 彰子、渡邊 卓
全国幹事：安東由喜雄、大谷 慎一、尾崎由基男、小田桐恵美、
河野 誠司、北島 勲、幸村 近、清水 力、
杉浦 哲朗、諏訪部 章、田窪 孝行、日野田裕治、
藤原 久美、船渡 忠男、松尾 収二、松永 彰、
三井田 孝、宮地 勇人、村上 純子、盛田 俊介

以上

7. 平成 24・25 年度各委員会委員について

佐守友博次期会長より、平成 24・25 年度各委員会の委員長ならびに委員について、以下の通り報告があった。

記

情報・出版委員会

委員長：池田 均
委員：安東由喜雄、小田桐恵美、海渡 健、清水 力、
増田亜希子、宮地 勇人、盛田 俊介

教育研修委員会

委員長：菊池 春人
委員：今福 裕司、北島 勲、鯉淵 晴美、佐藤 尚武、
諏訪部 章、藤原 睦憲、三井田 孝、山田 俊幸

資格審査・会則改定委員会

委員長：渡邊 卓
委員：河野 誠司、佐藤 尚武、大谷 直人、下 正宗、
村上 純子

アドバイザー：土屋達行

渉外・広報委員会

委員長：木村 聡
委員：康 東天、菊池 春人、小柴 賢洋、諏訪部 章、
藤原 久美、船渡 忠男、松永 彰、三井田 孝、
金子 大、岸尾 正則、寺原 一行、山崎 敏治

保険点数委員会

委員長：佐藤 尚武
委員：大谷 慎一、大西 明弘、尾崎由基男、佐守 友博、
中谷 中、米川 修、渡邊眞一郎

専門医数増加方策 WG

委員長：三宅 紀子
委員：上原 由紀、小倉加奈子、金子 誠、木村 聡、

鯉淵 晴美、杉本 一博、東條 尚子、松下 弘道、
日本臨床検査医学会 連絡委員：東條 尚子
JCCLS 委員：高木 康
WASP 委員：佐守 友博、伊藤 喜久
内保連委員：佐守 友博、佐藤 尚武
日本臨床検査医学会専門医・管理医審議会委員：東條 尚子
臨床検査振興協議会
理事：未定
医療政策委員会委員：未定
広報委員会：木村 聡
編集出版委員会：×谷直人
ホームページ担当：金子 誠(記者)、木村 聡(査閲者)

以上

8. 平成 24 年度活動予定について

東條庶務・会計幹事から、平成24年度の活動予定について報告があった。
なお、予定表については、本議事録の末尾に添付する(資料)。

9. その他

東條庶務会計幹事より、第一三共が地域社会への貢献の一環として開設を予定している「くすりミュージアム」の展示資料として、本会ホームページ、教育研修セミナー、一般検査編(3)に掲載している“尿沈渣標本～サルファ剤結晶”の写真について、使用許可を求める依頼があった。渡辺 清明会長ならびに矢富 裕 情報・出版委員長の許可を得、ファイルを貸し出すこととした旨、報告があった。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 24 年 1 月 4 日

山田 俊幸 印

平成 24 年 1 月 11 日

東條 尚子 印